

平成27年度 第46回 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会

Bブロック男子1回戦

宮崎工業 69

26	—	21
6	—	21
16	—	24
21	—	17
—	—	—

83 直方

主審 東後藤 慶志郎

(宮崎3位)



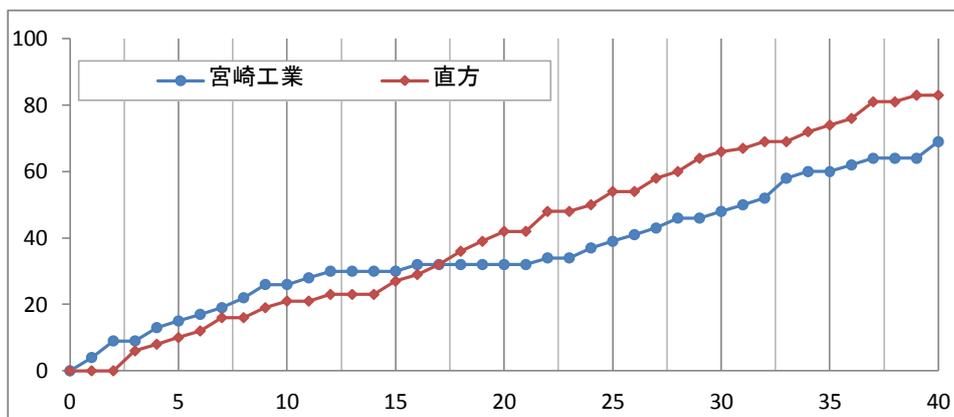
(福岡4位)

副審 東田 和久

No. 13E4

日時: 2016年2月13日(土) 13:30

会場: いちき串木野総合体育館E4



宮崎工業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 石田 龍之介 (C)	11	1	3	2	1
5	松田 岳	6	0	3	0	2
6	鍋倉 将太	0	0	0	0	0
7	中山 拓磨	-	-	-	-	-
8	本田 周平	-	-	-	-	-
9	鈴木 凱	-	-	-	-	-
10	伊豆本 紘己	-	-	-	-	-
11	* 山本 直樹	0	0	0	0	5
12	坂元 太一	2	0	1	0	1
13	* 川添 涼太	11	0	4	3	5
14	* 藤村 紘太	26	0	13	0	2
15	酒井 恵太	0	0	0	0	1
16	堀 颯汰	0	0	0	0	0
17	* 伊藤 将輝	13	1	4	2	2
18	池田 達郎	0	0	0	0	0
コーチ	橋 裕					
合計		69	2	28	7	19

直方

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 安永 拓海 (C)	12	0	6	0	3
5	八田 健仁	-	-	-	-	-
6	八田 秀仁	6	1	1	1	1
7	* 國房 天馬	26	2	8	4	4
8	* 中嶋 渉人	5	0	2	1	3
9	高松 直樹	6	0	3	0	1
10	堀尾 侑希	-	-	-	-	-
11	楠木 宇宙	-	-	-	-	-
12	石川 佑哉	2	0	1	0	0
13	國房 倫平	13	0	6	1	2
14	* 島本 和幸	13	0	6	1	3
15	* 馬越 滉将	0	0	0	0	1
16	中村 泰地	0	0	0	0	0
17	岩永 稔弥	-	-	-	-	-
18	堀崎 秀輝	-	-	-	-	-
コーチ	文野 政憲					
合計		83	3	33	8	18

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

立ち上がり、宮崎工業はマッチアップゾーンで激しく仕掛け、ゲームの主導権を奪う。#4石田のドライブや#13川添・#14藤村のゴール下で得点を重ね開始2分過ぎには9-0とする。直方はアウトサイドのシュートが決まらずに苦しい展開となるが、#4安永や#7國房の速攻で徐々にペースをつかむ。しかし、宮崎工業はディフェンスに変化を見せ主導権を譲らず26-21と宮崎工業リードで第1P終了。第2Pの立ち上がりはロースコアの展開となるが5分を過ぎるとゲームが動き始め、直方はフリースローで点差を詰めると#14島本のリバウンドシュートで34-32と逆転する。宮崎工業はタイムアウトを取り、直方の勢いを止めたが、逆に速攻を決められ42-32と直方が10点差にリードを広げて前半を終わる。後半はお互い、点の取り合いでスタートする。宮崎工業は#14藤村がゴール下で頑張り、このピリオドだけで10得点の活躍をみせる。一方直方は激しいディフェンスから速攻を繰り返し、攻撃の手をゆるめず66-48とさらにリードを広げて第3P終了。第4Pの立ち上がり、宮崎工業は攻勢を強める。#5松田が果敢にゴール下に攻め込み連続ゴールを奪うなどして一時は9点差まで詰め寄る。直方はこの試合3Pシュートが決まらず苦しい展開が続いたが、最終ピリオドを迎えて#7國房が2本の3Pシュートを決めるとゲームは落ち着きを見せ、79-62と再びリードを広げる。宮崎工業はディフェンスに変化を見せるなどして直方のアウトサイドを封じたが後一歩及ばなかった。結局83-69で直方が勝利をおさめ2回戦へコマを進めた。

記者	徳田 達治
----	-------

(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
------	----------------